

2012年度帰国子女入学試験「実技試験」「小論文」等の採点基準

学科・専攻	実技試験(芸術学科は小論文)	面接		
	狙い・意図、採点のポイント	狙い・意図、採点のポイント	小論文 利用	実技 試験 作品 利用
彫刻	対象を的確に捉え、立体表現として必須のものを描写できるかの能力を考査する。	実技作品を踏まえ、制作意図を語らせると共に、本学志望理由を確認。小論文を参考に日本語の理解力を鑑みながら総合的に判断した。	●	●
グラフィック デザイン	[鉛筆デッサン] ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・伝達力 問題の目的や状況を正確に表現しているか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・描写力 構図、形、動き、光、量感などを描写することに必要な技術が優れているか ・個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか [色彩構成] ・理解力 問題の把握、理解が正しいか ・発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか ・造形力アイデアを明快でムダのない色彩と構成によって、美しく整理できているか ・完成度 手仕事としての仕上げが優れているか ・個性 品格、感性に優れているか	・入学志望理由が明確であるか ・授業への取り組みの意欲があるか	●	×
プロダクト デザイン	・理解力＝問題の把握、理解が適切か ・発想力＝アイデアが優れているか ・独創性＝他にないアイデアか ・実現力＝アイデア具体化方法の知識があるか ・表現力＝アイデアが伝わる表現か	・授業に必要な対話力があるか ・本専攻の内容を理解しているか ・本専攻への入学意図は明確か ・自分の意見を述べられるか ・学習意欲が感じられるか	×	×
情報デザイン :メディア 芸術 コース	出題テーマとなった地図や地球儀でない「未来の地球」は、なにか特定の具体的な対象を指し示すというよりも、抽象的な概念であり、客観的な正解があるわけではない。そうした問いに対して、大胆かつ創造的に取り組んでいく能力と、テーマを視覚化したときの演出力や描写力、表現のバランスなどを総合的に評価した。	主に、以下の項目について面接試験および評価を行った。 ・美術大学、特に情報芸術コースの1年次のカリキュラムに必要な、美術/デザインに関する基礎的な知識やスキル ・外国生活での経験が有効に身につけているか ・日本、特に本学で美術/デザインを学びたいという動機と熱意 ・日本語でのコミュニケーション能力(日本語を取得しようという気持)		

全学科共通小論文

受験生の異文化体験の中で外国生活と日本生活との間で如何にアイデンティティを図ったか、図っているか。
採点のポイントは、正しい日本語の文章が表現されているか。具体的に書けているか